

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名: 王寺町 建設部 都市計画課

事業の名称: 駅前幹線整備事業

実施都市名: 奈良県 王寺町

事業目的

都市計画道路駅前幹線は、王寺駅南駅前広場を起点として、葛下川を渡り、国道25号へ至る延長166mの路線であり、王寺駅南地区へのアクセス利便性の向上や、王寺駅周辺からの避難路確保、王寺駅周辺道路の渋滞解消などを目的とした2車線の幹線道路です。

事業概要

事業名:駅前幹線整備事業

路線名:駅前幹線(町道 王寺大橋線)

事業箇所:王寺町王寺2丁目・本町1丁目地内

事業延長:166m(うち橋長124m)

幅員:17.5m~34.0m(橋梁幅員14.8m~17.5m)

総事業費:15億8,900万円

事業期間:平成16年~平成19年

本事業は、5径間連続鋼床版鉄桁橋124m+道路部42mの道路橋、駅前広場5,000㎡を整備したものである。

橋梁部は、河川と町道を横架し、これらの建築限界を確保しつつ斜路の勾配をできるだけ緩くするため、桁の低桁高化(最低値で腹板高600mm)を実現する必要があり、これらが可能な鋼床版鉄桁を採用した。

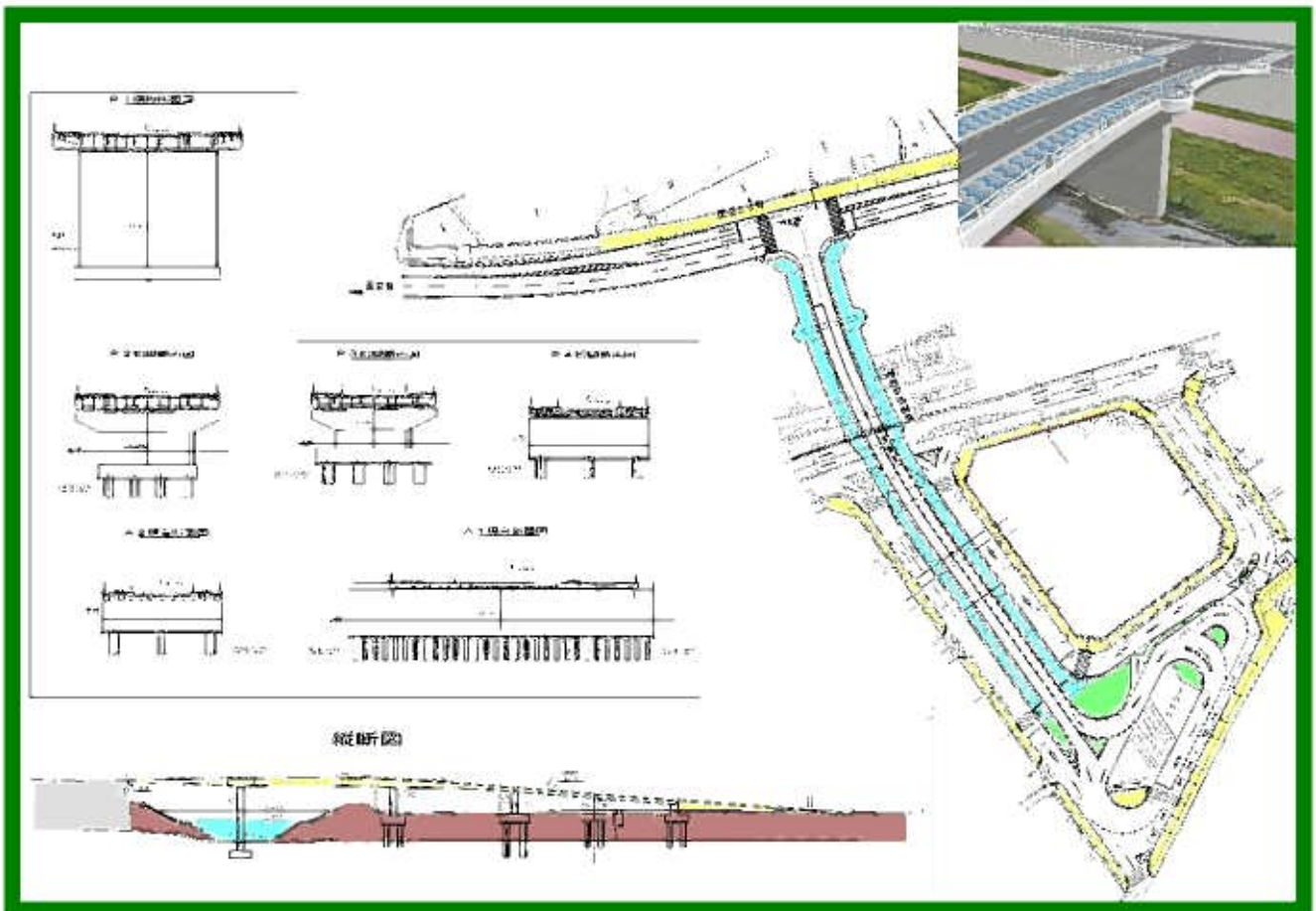
また事業地が駅前ということもあり、王寺町の玄関口に位置することから、橋梁全体のイメージを王寺町の顔として捉え、デザイン的配慮を施した。具体策として、高欄部にせせらぎをイメージした高欄や町花町木のデザインパネルを設置し、橋梁全体には橋梁をスレンダー(桁の厚みが薄く軽快)に見せる働きのある桁カバーを設置し、シンボリックに美しく見えるようにした。

駅前広場部は、既存していた駅前広場に、橋梁による新たな動線が増えることから、広場内の動線を見直し利便性が向上するように整備を行った。

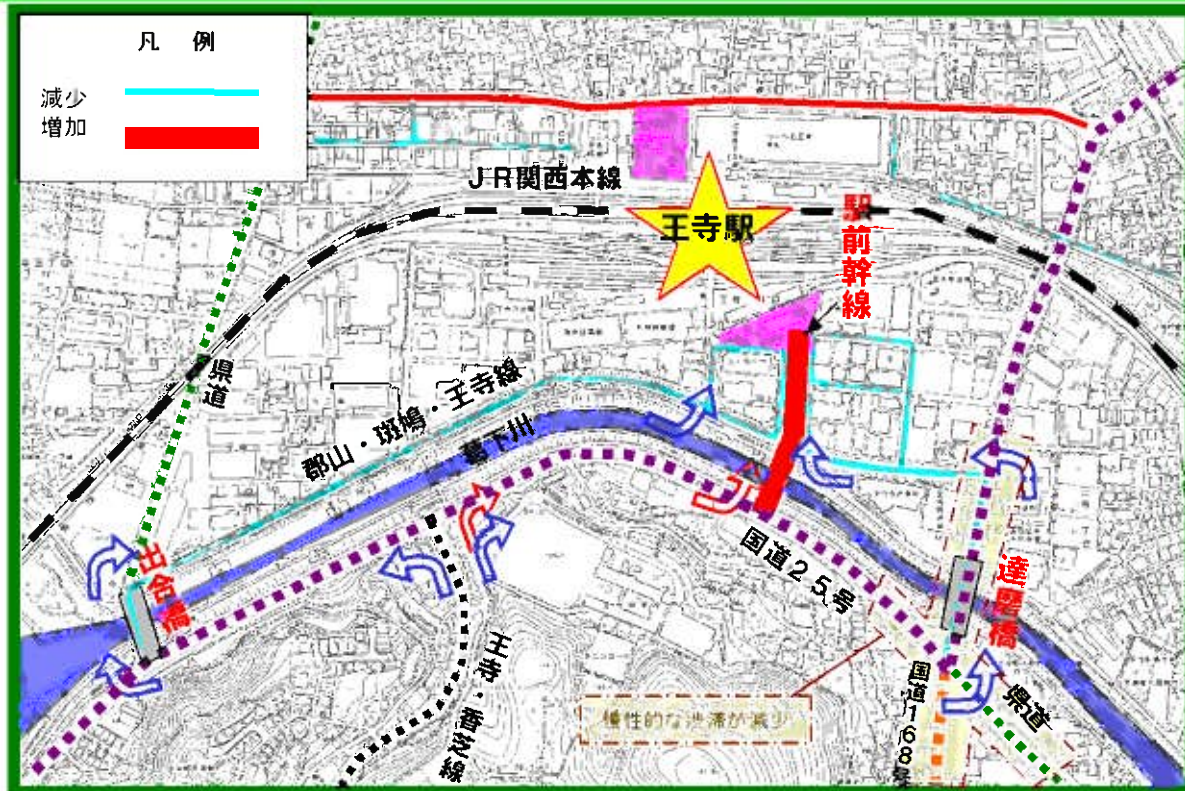
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断図)



駅前幹線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 駅前幹線整備事業
 路線名: 駅前幹線
 事業箇所: 王寺町王寺2丁目・本町1丁目地内
 事業延長: 166m(橋長124m)
 幅員: 17.5m~34.0m(2車線)
 総事業費: 15億8,900万円
 事業期間: H16~H19年度

○交通量調査結果

供用前 平成12年12月25日実測
 供用後 平成20年5月21日実測
 ・交通量の推移(駅前広場への出入)
 郡山・斑鳩・王寺線 13,000台→8,000台 **5,000減**
 駅前幹線 0台→10,000台 **10,000増**
 ◎郡山・斑鳩・王寺線からの駅前広場への交通量がピーク時の平均で**約50%減少**

「整備効果」

○所要時間の短縮

王寺町明神3丁目⇒王寺駅南駅前周辺

王寺・香芝線～出合橋～郡山・斑鳩・王寺線経由 18分

王寺・香芝線～達磨橋～郡山・斑鳩・王寺線経由 23分

王寺・香芝線～駅前幹線経由 **11分**

「その他の事業効果」

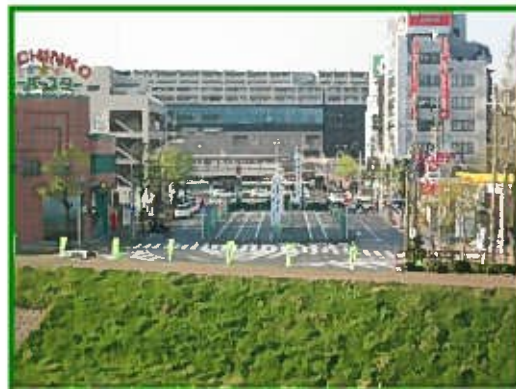
- 周辺の交差点の慢性的な渋滞が減少した
- 歩行者の安全な通行空間の確保に寄与した
- 駅前の市街地での整備のため、橋梁に化粧板やデザイン高欄を採用した
- 駅前広場内の自転車の不法駐車数が**激減**(放置自転車防止の条例化とのコラボ)
- 駅前広場内のタクシー駐車の**マナー向上**



事業前写真

駅前幹線

平成17年4月撮影



王寺駅南駅前広場

平成16年6月撮影



事業後写真

完成後写真 平成20年3月撮影



利用状況



日常生活だけでなく、ワーキングコースや町事業(シルバーワーク)にも利用されています。

